

Bridge^{vol.7}

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ7号] 2011.7

Interview

学生部長 / 生活環境学部 生活マネジメント学科

古寺 浩教授

金城学院大学の新たなキャリア形成支援

学生情報を共有化、
キャリア形成をサポートする
「K-カルテ」がスタート。

金城学院大学の新たなキャリア形成支援

学生情報を共有化、
キャリア形成をサポートする
「K-カルテ」がスタート。



Bridge
Interview

学生部長
生活環境学部 生活マネジメント学科

古寺 浩教授

Hiroshi Kodera

- 学位：教育学修士
- 専門分野：生活科学、経済学、教育学
- 研究課題：アメリカおよび日本の家政学史—その理念・哲学に関する研究、生涯生活設計における生活経済指標に関する研究、日米の高等教育における消費者教育実践および第三者評価に関する研究
- 所属学会：日本家政学会、AAFCS (アメリカ家政学会)、IFHE (国際家政学会)

本学では7年前よりキャリア支援・キャリア教育を重要課題とし、独自の取り組みを行ってきました。全学が一体となってカリキュラムや組織を見直し、専門セッションやカウンセラーの設置、オリジナルツール開発などその取り組みは現代GPに採択されるほど高い評価を得ています。そして、さらなる強化と充実を図るため、ITを利用した情報管理システム「K-カルテ」を構築し、今年4月より本格的な運用を開始しました。一歩先行く金城学院大学の新たなキャリア支援。その扉が、今開きました。

● 金城学院大学「キャリア教育」が現代GPに採択

豊富な経験・実績と専門性に裏打ちされた、オリジナリティにあふれた金城学院大学のキャリア教育。今日のキャリア支援のベースとなっている「個重視・女性のためのキャリア開発サポート」は2006年度の現代GPに採択され、さらに、ITを活用したキャリア支援オリジナルシステム「K-カルテ」においても2009年度の現代GP(就職支援GP)の選定を受けています。

※現代GP(正式名称：現代的教育ニーズ取組支援プログラム)とは、文部科学省が推進する教育サポート事業のひとつです。各種審議会などからの提言などをふまえ、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマを設定し、全国の国公私立大学・短期大学・高等専門学校に公募。申請されたさまざまなプロジェクトの中から、とくに優れたプランを選定・支援する取り組みです。

学内イントラネットで運用する
キャリア形成支援のデータベース

2011年度から正式に運用がスタートした「K-カルテ」とは何でしょうか。

古寺教授(以下敬称略/古寺) 本学が、学生のキャリア形成や就職支援に力を入れ始めたのは、7年ほど前のことであり、他大学と比べてかなり早い時期でした。当時の学生部長が心理学領域の中でもキャリア開発関連を専門とされ、その方を中心にさまざまな仕組みがつけられてきました。

1年次の正課授業にキャリア開発教育科目を採用したり、「K-Note」「K-Web」「マナービデオ」などのキャリア形成支援ツールを開発したりなど、本学の取り組みはどれも独創的です。そのツールの中の一つ、自己分析や将来の夢、夢をかなえるためのアクションプランなどを学生自身が記入していく「K-Note」は、学生の意識改革や適切なキャリア教育にとても役立ち、それを電子化したのが「K-カルテ」です。2009年度に文部科学省から学生支援GPの採択を受けて構築したITツールです。

K-カルテはK-Note電子版ということですが、何を目的に電子化したのでしょうか。

古寺 K-カルテ開発の目的をひとことと言わず、学生情報の共有化です。学生がキャリア形成の意志や足跡を記していくK-Noteは、継続性のあるサポートを行うという点においても効果的なツールです。しかし、それを有効に利用していたのは、主にキャリア教育科目の担当教員

だけでした。そんな現状に対して、学生の個別指導を行うアドバイザー(ゼミ教員など)や大学職員も把握すべきではないかということから、K-Noteの情報を教職員が共有するために開発したのがK-カルテなのです。

また、K-カルテの開発にあわせて、学生のクラブ活動やボランティア活動、就業体験(インターンシップ)など、これまで学内の各担当部署がバラバラに保管していた情報も一元管理し、閲覧できるようにしました。さまざまな学生情報の中には、同じものが複数の部署で管理されているものもあり、しかも、一方は更新されているのにもう一方は古いままだったりなど、内容が違っているケースも見受けられました。K-カルテで情報を一元管理すれば事務作業のムダがなくなり、情報の精度も高まります。それも、開発目的のひとつでした。

K-カルテが完成したことにより、アドバイザーが学生と面談する際に、その学生について「知らなかった」ということがなくなります。面談の際に、「ボランティア活動はどうだった?」と話題をふることができたり、志望進路にあった資格取得をアドバイスしたりなど、学生の最新情報をもとに、今まで以上に緊密で適切なキャリア形成支援が可能になっていくと考えています。

学生の個人情報ですから、セキュリティや運用にかなり注意を払っていると思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

古寺 K-カルテは、学生の個人情報ですから、セキュリティ対策という点については十分な注意を払っています。

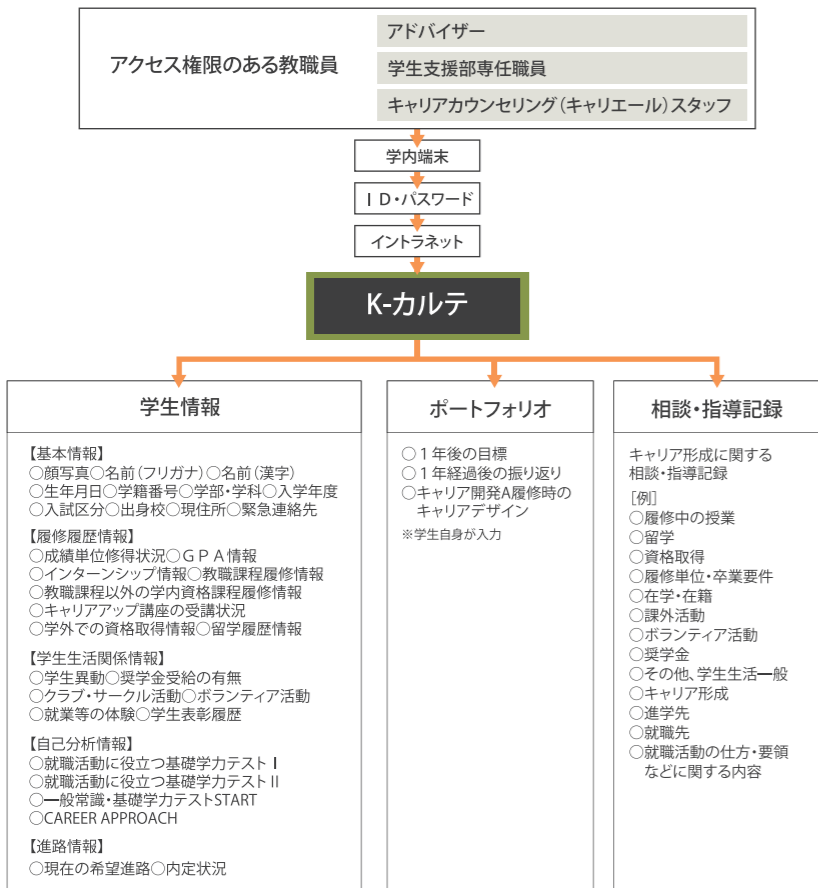
まず、K-カルテはイントラネット(学内情報通信網)で管理し、学生情報は大学の中だけ見られないようになっていきます。情報の入力は学外の

端末からでも可能ですが、閲覧は不可。アクセスできるのは、教員であればアドバイザーとして担当している学生のみであり、職員も学生支援部専任職員とキャリアエールスタッフに限定しています。情報を閲覧するためのID、パスワードを発行し、アクセス記録もすべて保存しています。また、画面に表示されているテキストや画面のコピーができないプログラムを組んでいます。

K-カルテの本格的な運用開始は2011年4月ですが、キャリア教育の授業で使う部分は昨

年4月に完成し、すでに利用しています。教職員も活用できる今の体制を整えるため、セキュリティシステムの検討と構築に1年を費やしたのです。学生との個人面談では、就職や授業、サークル活動などに関してだけでなく、アルバイトや友人関係について話を聞くこともあります。K-カルテには、そこで得た最新情報をメモ書きできるような仕組みにはなっていますが、キャリア形成に係ることだけを記録に残すこととし、その場合も学生の了解を得ることを前提としています。

□ K-カルテの概要



キャリア支援センターが行う、今後の就職関連ガイダンス&セミナー【2011年度】

3年生対象(薬学部を除く)	
求職登録カード・自己分析シートの提出	9/20(火)~30(金) ^{※1}
就職ガイダンス(第5回) ^{※2}	10/3(月)~6(木)
企業 内定者報告会	10/20(木)
就職総合テスト	10/20(木)
公務員・教員 就職ガイダンス(第2回)	10/21(金)
大学フォーラム	10/21(金)
ご父母向け就職説明会	10/22(土)
就職ガイダンス(第6回) ^{※2}	10/24(月)~27(木)
就職特別講座	11/16(水)
グループ別ガイダンス	11/17(木)~30(水) ^{※1}
就職ガイダンス(第7回) ^{※2}	11/21(月)~25(金) ^{※1}
コミュニケーション講座	11/26(土)
幼稚園・保育園・小学校 OG懇談会	12/10(土)
管理栄養士 学内企業セミナー	12/10(土)
企業 学内企業セミナー	1/24(火)、25(水)、2/3(金)~10(金) ^{※3}
企業 学外合同企業セミナー	2/13(月)
幼稚園・保育園・小学校 就職ガイダンス	3月上旬
グループ別ガイダンス	1~3月適時開催
企業 求人票紹介ガイダンス	適時開催

薬学部5年生対象	
就職ガイダンス(第4回)	8/8(月)
就職ガイダンス(第5回)	9/15(木)
就職ガイダンス(第6回)	11/26(土)
学内企業セミナー	12/17(土)

※1: 土日祝を除く ※2: 幼稚園・保育園・小学校への就職希望者を除く ※3: 2/4,5を除く ※4: メイクアップ講座の予約期間は、土日祝を除く9/21(水)~ 30(金)となります

キャリア支援センター(本部棟3F)、
キャリアール(本部棟4F)にて
個別面接を随時受け付けています。



キャリア・アップ講座

すべてのキャリアアップ講座と
スケジュールを紹介した小冊子を
学生全員に配布しています。

10月募集 予約期間:10/3(月)~5(水)

- 教員採用試験対策『模擬試験』
- 企業就職対策『自己分析・自己PR作成コース』
- 企業就職対策『エントリーシート・履歴書・美しい文字の書き方対策コース』
- 企業就職対策『グループディスカッション対策コース』
- 企業就職対策『面接対策コース』
- メイクアップ講座^{※4}

12月募集 予約期間:12/5(月)~7(水)^{※1}

- 公務員試験(一般教養科目)『応用コース』
- 公務員試験(一般教養科目)『直前コース』
- 公務員試験(保育)『保育論文コース』
- 教員採用試験対策『教養試験コース』
- 教員採用試験対策『小学校全科コース』

大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。 父母会はさまざまな活動をサポートしています。



生活環境学部
食環境栄養学科
丸山 智美 教授
専門分野:生活科学
健康・スポーツ科学

研究トピックス

海外研修助成費をいただいて

第16回国際女性心身医学会議での研究発表を終えて

2010年10月28日から31日まで、本学父母会海外研修助成費により、イタリア・ベニスで開催された第16回国際女性心身医学会議(16th International Congress of the International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology)に出席し、研究成果「Social capital and eating habits and behavior of perimenopausal Japanese women」を発表する機会を得ることができました。国際女性心身医学会議は、女性の心身と健康に関する研究の進歩・向上をはかり女性の心身の健康と福祉に貢献することを目的とした、国際女性心身医学会が4年に一度開催する国際会議です。

女性のクオリティ・オブ・ライフを維持することは、わが国の健康戦略として重要な課題であり、厚生労働省は女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援することを目標に掲げています。しかし、更年期女性に関する食生活と更年期障害および症状に関する報告は、日本国内では数が少なく、実践活動のためのエビデンスが十分であるとは言えないのが現状です。

現在、私は独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金(研究課題番号21500799)に採択された「更年期女性

の食環境や栄養素摂取量と更年期症状との関連」で、更年期女性の食環境を解明する研究を推進しています。研究2年目に当たる2009年度末に人間同士の結束であるソーシャルキャピタルと更年期女性の食環境との相関が見出されるという社会的に意義の高い研究成果を得ました。2010年度父母会海外研修助成費に採択されたことで、国際的に注目されている学会で研究成果を公表することができました。さらに、この研究成果をもとに科学的な視点を加えた論文が食生活研究31-5に掲載されることが決まっています。

第16回国際女性心身医学会議では、更年期女性のみならず全年代の女性の心身医学的な問題点や予防、改善について約300演題の研究成果の発表が行われ、活発な意見が交換されました。私も主にヨーロッパ在住の研究者と意見交換を行い多くの示唆を得たことから、これまで構築してきた女性栄養の研究に新たな方向性を見出すことができました。今後も研究を続け、女性栄養に有意義な研究結果を公表していきたいと考えています。この国際会議で得たものは学内で担当している授業科目にも活かすことができている。このような有意義な活動の機会を与えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。



古寺 学生には、キャリア教育の授業でK-カルテの利用マニュアルを配り、ボランティア活動に参加したとか資格を取ったとか、インターシップを体験したなど、そのつど書き込んでいくように指導しています。学期の最初の頃や個人面談の際にも、K-カルテのことを告知してキャリア形成に関する活動をきちんと入力するように促しています。

学生本人はK-カルテをどのように利用しているのですか。

古寺 そうですね、現段階におけるK-カルテならではの機能としては、特定の注意事項を発信するお知らせ機能があげられるでしょう。学生が授業を2回以上続けて欠席したり、欠席が合計で3回以上となったり、健康問題が生じたりした場合などに、アドバイザーのPCと携帯電話に注意を促すメールを送る仕組みです。お知らせを受け取ったアドバイザーは、欠席の多い科目の教員と話し、学生には直接会って事情を聞いてたりなど、適切な対策をとります。気が付いた時にはもう遅かった、ということがないように早めにアドバイスできるのがいいですね。

古寺 カ-カルテならではの機能があげられればお教えください。

古寺 それでは、現段階におけるK-カルテならではの機能としては、特定の注意事項を発信するお知らせ機能があげられるでしょう。学生が授業を2回以上続けて欠席したり、欠席が合計で3回以上となったり、健康問題が生じたりした場合などに、アドバイザーのPCと携帯電話に注意を促すメールを送る仕組みです。お知らせを受け取ったアドバイザーは、欠席の多い科目の教員と話し、学生には直接会って事情を聞いてたりなど、適切な対策をとります。気が付いた時にはもう遅かった、ということがないように早めにアドバイスできるのがいいですね。



学内コミュニケーションツールとしての発展も視野に入れる

全学での運用が始まったばかりですが、システム面での進化や今後の運用方法について、どんな構想を描いていますか。

古寺 キャリア形成支援に必要な学生情報という点においては、K-Noteをベースにしているの一通り網羅できていると思います。ただ、利用している教員から「履修に関する項目に、私が担当

学生向けの情報発信システムとK-カルテを融合させるわけですね。

SNSのような使い方も考えられるのでは？

古寺 はい、実はそれも今後の構想の中に入っています。現在のように、学生と教職員が各々個別に情報を閲覧したり入力したりするだけではなく、学生と教職員の双方向コミュニケーションツールのような使い方も考えています。学生が「ボランティアに参加してきました！」

その科目ではこういう情報も書き込みたいという要望も出てきていますので、今後は情報の深さを見直していこうと考えています。そのために、前期が終わった時点で利用している教職員のリサーチを行う予定です。

それから、学生がどのように利用してくれるかについて、当初から心配する声があがっていました。ボランティア活動もしない、サークルにも所属していない、資格も取っていない、そういう学生はK-カルテにアクセスするきっかけがなく、キャリア形成の足跡が残りません。学年の初めに1年後の目標を入力し、そして年度末に1年の振り返りを書く。それで済んでしまうのです。

そうならないために、「学生が必要とする情報をK-カルテで発信しよう」ということを少し考えています。休講情報や学内のイベント案内、それから図書館情報など、掲示板的な機能を付加することで学生がK-カルテへアクセスする機会をつくらうというものです。それに関しては今、学内にどんな情報が散らばっているのかを調査しており、また、各部署にも声をかけて検討していこうと準備中です。

冒頭で申し上げた通り、本学はキャリア形成の必要性に早くから気づき、1年次からカリキュラムに組み込んで学生たちのキャリアづくりを支えてきました。キャリア支援に携わるスタッフだけでなく、すべての教職員の意識も高く、今後、K-カルテは有効に利用されていくと思います。

K-カルテの開発目的が情報の共有化であったように、学生情報を正確に把握することからすべてが始まります。保護者のみなさまにおかれましても、ご家庭での会話を多く持ち、お子さんの活動の様子や内面的なこともつねにつかんで、ご家庭でもしっかりと支えてあげていただきたいと思います。

最後に、保護者の皆様へメッセージをお願いします。

古寺 少し前までの大学は、教育には責任を持つことも就職は本人の努力次第、という考え方が普通で、キャリア形成や就職支援に対してはほとんど力を入れていませんでした。しかし現在は、学生を対象に大学満足度調査などを行うと、就職支援や就職決定率が上位にランキングされるようになってきました。

冒頭で申し上げた通り、本学はキャリア形成の必要性に早くから気づき、1年次からカリキュラムに組み込んで学生たちのキャリアづくりを支えてきました。キャリア支援に携わるスタッフだけでなく、すべての教職員の意識も高く、今後、K-カルテは有効に利用されていくと思います。

K-カルテの開発目的が情報の共有化であったように、学生情報を正確に把握することからすべてが始まります。保護者のみなさまにおかれましても、ご家庭での会話を多く持ち、お子さんの活動の様子や内面的なこともつねにつかんで、ご家庭でもしっかりと支えてあげていただきたいと思います。

と入力したら、それに対してアドバイザーがコメントを書く。タイムリーにリアクションがあれば、書き込み楽しみが増えるでしょう。フェイスブックには「いいね!」というボタンがありますが、あんな程度のものでも十分かも知れません。「いつも誰かが私のことを見ていてくれるんだ」と感じられる仕組みをつくることで、活動も活発になるでしょうし、K-カルテへの入力、つまりキャリア形成の足跡もしっかり残されていくと思います。データベースからコミュニケーションツールへ、K-カルテはこれからはますます進化していきます。

予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

2010年度決算について

すべての事業につきまして、予算内で実行することが出来ました。就職が厳しくなっている情勢に対応するため、2009年度より「学生キャリア教育助成費」を設け、4年生の就職支援及び1・2年生への意識啓発のために助成しております。

2011年度予算について

社会情勢を鑑み、緊急奨学金を増やすため「学生教育助成費」の増額、学生活動をより充実させるため「学生活動助成費」の増額、教員の研究活動を推進するため「教育研究助成費」の増額が承認されました。

◎収入の部	2010年度収支決算			2011年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2011年予算額	2010年予算額	増減
前年度繰越金	26,869,087	26,869,087	0	32,679,667	26,869,087	5,810,580
入会金 7,000円	9,366,000	9,366,000	0	9,254,000	9,366,000	△112,000
会費 12,000円	62,490,100	63,636,000	△1,145,900	65,292,000	63,636,000	1,656,000
雑収入 預金利息	25,654	100,000	△74,346	100,000	100,000	0
合計	98,750,841	99,971,087	△1,220,246	107,325,667	99,971,087	7,354,580
◎支出の部	2010年度収支決算			2011年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2011年予算額	2010年予算額	増減
学生教育助成費	3,140,964	3,900,000	△759,036	4,500,000	3,900,000	600,000
学生キャリア教育助成費	13,227,000	13,230,000	△3,000	13,230,000	13,230,000	0
学生活動助成費	9,023,315	9,984,000	△960,685	11,237,400	9,984,000	1,253,400
学生指導助成費	2,319,532	3,182,000	△862,468	3,264,600	3,182,000	82,600
教育研究助成費	10,421,709	10,529,000	△107,291	12,334,000	10,529,000	1,805,000
教員研修助成費	2,452,302	4,300,000	△1,847,698	4,605,600	4,300,000	305,600
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	2,226,648	3,000,000	△773,352	3,000,000	3,000,000	0
卒業記念事業費	2,999,136	3,000,000	△864	4,000,000	3,000,000	1,000,000
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	7,386,338	8,900,000	△1,513,662	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成積立金	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
周年事業積立金	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
雑費	274,230	1,000,000	△725,770	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	26,346,087	△26,346,087	28,654,067	26,346,087	2,307,980
次年度繰越金	32,679,667	—	32,679,667	—	—	—
合計	98,750,841	99,971,087	△1,220,246	107,325,667	99,971,087	7,354,580
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	3,000,000					
学生施設建設助成積立金	6,000,000					

今年度も夏休みに地区別懇談会を開催します。

昨年度と同じ4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地域における就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談などを個別に受け付けます。下記の地区の方々には、別途ご案内をお送りしておりますので、お申込のうえご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

四日市	四日市都ホテル	8月27日(土)	13:30~16:00
金沢	金沢都ホテル	8月30日(火)	13:30~16:00
浜松	グランドホテル浜松	9月3日(土)	13:30~16:00
岐阜	岐阜グランドホテル	9月10日(土)	13:30~16:00

総会報告

去る2011年6月1日(水)大学にて父母会総会が開催され、2010年度の事業報告・決算、2011年度の事業計画・予算などが承認されました。

2010年度事業報告

父母対象 大学説明会 ■2010年4月1日(木)	入学式後を利用して、入学生の父母対象に説明を行いました。 【内容】 <input type="checkbox"/> キリスト教教育について <input type="checkbox"/> 学生生活について <input type="checkbox"/> 教務上の諸事項について <input type="checkbox"/> キャリアアップ講座について <input type="checkbox"/> 大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2010年5月20日(木)	【役員会】 総会審議事項の確認 <input type="checkbox"/> 2009年度事業報告 <input type="checkbox"/> 2009年度会計報告 <input type="checkbox"/> 2010年度役員・委員候補者 <input type="checkbox"/> 2010年度事業計画 <input type="checkbox"/> 2010年度予算 <input type="checkbox"/> 教育懇談 【歓迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓迎会
総会 ■2010年6月2日(水)	【総会】 <input type="checkbox"/> 2009年度事業報告 <input type="checkbox"/> 2009年度会計報告 <input type="checkbox"/> 2010年度役員・委員候補者 <input type="checkbox"/> 2010年度事業計画 <input type="checkbox"/> 2010年度予算 【全体説明会】 <input type="checkbox"/> 大学の現状報告 <input type="checkbox"/> 学生生活について <input type="checkbox"/> 就職状況について 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
委員との 懇談会 ■2010年7月23日(金)	【講演】 演題:「誠実に開きの確に反論するーディベートの魅力」 講師:副学長・文学部教授 二杉孝司氏 【懇談会】 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
地区別懇談会 ■金沢: 2010年8月28日(土) ■浜松: 2010年9月4日(土) ■四日市: 2010年9月11日(土) ■岐阜: 2010年9月18日(土)	【概要】 <input type="checkbox"/> 大学の教育方針・近況等説明 <input type="checkbox"/> 学生生活上の説明 <input type="checkbox"/> 個別懇談(成績関係、就職関係、その他) 【出席者】 <input type="checkbox"/> 金沢 …… 父母・学生 25名、大学側 6名 <input type="checkbox"/> 浜松 …… 父母・学生 75名、大学側15名 <input type="checkbox"/> 四日市 …… 父母・学生104名、大学側15名 <input type="checkbox"/> 岐阜 …… 父母・学生144名、大学側20名
定期懇談会 ■2010年12月2日(木)	【議題等】 <input type="checkbox"/> 大学の近況報告 <input type="checkbox"/> 今後の父母会活動について <input type="checkbox"/> 教育懇談
役員会 ■2011年2月17日(木)	【議題等】 <input type="checkbox"/> 今年度父母会活動の総括 <input type="checkbox"/> 卒業記念品について <input type="checkbox"/> 父母会総会の持ち方について <input type="checkbox"/> 教育懇談
役員会 ■2011年3月18日(金)	【議題等】 次年度役員、日程について

2011年度事業計画

父母対象 大学説明会 ■2011年4月1日(金)	入学式後を利用して、入学生の父母対象に説明を行いました。 【内容】 <input type="checkbox"/> キリスト教教育について <input type="checkbox"/> 学生生活について <input type="checkbox"/> 教務上の諸事項について <input type="checkbox"/> キャリアアップ講座について <input type="checkbox"/> 大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2011年5月18日(水)	【役員会】 総会審議事項の確認 <input type="checkbox"/> 2010年度事業報告 <input type="checkbox"/> 2010年度会計報告 <input type="checkbox"/> 2011年度役員・委員候補者 <input type="checkbox"/> 2011年度事業計画 <input type="checkbox"/> 2011年度予算 <input type="checkbox"/> 教育懇談 【歓迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓迎会
総会 ■2011年6月1日(水)	【総会】 <input type="checkbox"/> 2010年度事業報告 <input type="checkbox"/> 2010年度会計報告 <input type="checkbox"/> 2011年度役員・委員候補者 <input type="checkbox"/> 2011年度事業計画 <input type="checkbox"/> 2011年度予算 【全体説明会】 <input type="checkbox"/> 大学の現状報告 <input type="checkbox"/> 就職状況について 【講演会】 演題:「現代医療とホスピス」 講師:学院長・学長 柏木哲夫氏 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
委員との 懇談会 ■2011年7月22日(金)	【内容】 講演会及び父母会役員・大学役職者と父母会委員との懇談会
地区別懇談会 ■四日市: 2011年8月27日(土) ■金沢: 2011年8月30日(火) ■浜松: 2011年9月3日(土) ■岐阜: 2011年9月10日(土)	【概要】 <input type="checkbox"/> 大学の教育方針・近況等説明 <input type="checkbox"/> 学生生活上の説明 <input type="checkbox"/> 個別懇談(成績関係、就職関係、その他)
定期懇談会 ■2011年12月1日(木)	【議題等】 <input type="checkbox"/> 大学の近況報告 <input type="checkbox"/> 今後の父母会活動について <input type="checkbox"/> 教育懇談
役員会 ■2012年2月16日(木)	【議題等】 <input type="checkbox"/> 今年度父母会活動の総括 <input type="checkbox"/> 卒業記念品について <input type="checkbox"/> 教育懇談
役員会 ■2012年3月17日(土)	【議題等】 次年度日程について

ごあいさつ

金城学院大学父母会 会長

浅井 清司

会員皆様におかれましては、いよいよ清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解ご協力をたまわりまして心より御礼申し上げます。

3月11日の東日本大震災で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。本学にもご実家が被災されました学生さんがおられると伺っております。父母会といたしましても、こうした学生さんに対する物心両面に渡ってのキメの細かい支援をお願いいたしておりますし、義援金の募集や被災地でのボランティア活動などの支援活動に對しましても全面的に協力させていただくつもりであります。会員皆様のご理解をお願い申し上げます。

さて、金城学院創立120周年・大学設立60周年記念整備事業が一昨年度より始まり、この間、柏木哲夫学院長・学長先生の強力なリーダーシップのもと学内の学習環境やキャンパスライフ、通学環境の整備拡充が図られ、格段の向上をみました。表紙の写真のように、東海地方を代表するキリスト教主義女子大学にふさわしい花と緑あふれる美しいキャンパスに生まれ変わりました。父母会も歩道の設置や太陽光発電装置、聖書の庭の噴水やすべての教室に電波時計などを寄贈させていただきました。今後もうこうした大学の取り組みに対し全面的に協力してまいりたいと考えております。会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様の尚一層のご健勝をお祈り申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

金城学院大学 学長

柏木 哲夫

2011年3月11日の東日本大震災は日本社会全体に大きな影響を与えました。大学ではすぐに義援金を募り、被災地に送りました。学生達も夏休みを利用してボランティア活動をする予定です。

日頃は大学の教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のお支えにより、学生への教育と教員の研究活動が円滑に推進できることを大変感謝しております。2009年度金城学院は創立120周年、大学は設立60周年を迎えました。それを1つの節目とし、新たに金城学院大学教育マニフェストを作成し、社会に公表しました。マニフェストは、①女性の人生を豊かにする大学教育を推進します。②自ら学ぶ教育・学習システムを構築します。③「森の中の大学」構想を推進します。④キリスト教主義教育により「強く、優しい」女性を育てます。の4項目からなっています。

学生が選んで良かったと思える大学であり続けるために、常に必要な改組を継続して実施しています。今年度は人間科学部に多元心理学科を設置し、来年度には新学部として国際情報学部を設置するなどがその例です。また、「森の中の大学」構想に基づき、里山整備をはじめ学内の整備を行い、校舎間の道を整備して、緑地帯を設けました。学生の評判もいよいよです。その中で、父母会から、太陽光発電装置、歩道設置工事のために多額のご寄付をいただき感謝いたしております。また、2009年度には聖書の庭の噴水(叡智の泉)を卒業記念品としてご寄贈いただきありがとうございます。今年度は電波時計を各教室に設置させていただきました。

ここ数年、就職難がとりざたされていますが、その中で本学の就職率は96.4%と大変高い水準を保っていることはうれしいことです。これからも大学として最良の教育ができるよう、まい進していく所存でございますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学内トピックス

卒業記念品として
全教室を含む、
学内233カ所に
電波時計を寄贈。

従来、演習室等小さな教室では時計が設置されていなかったため、2010年度の卒業記念品として演習室を含むすべての教室231室に電波時計を寄贈いたしました。また、昨年度整備した図書館北の天然芝のグラウンドにソーラー式の大型の電波時計を寄贈し、グラウンドにいる学生及びその近辺を通行している学生から見えるように設置しました。

また、従来からリリーイースト前広場にも大型の時計が設置されていましたが、老朽化しているため、こちらにもソーラー式の電波時計を寄贈しました。



ウエストエリアのグラウンドに設置した電波時計